

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより

きらりNet

平成27年2月13日

第50号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

平成26年度 秋田きらり支援学校自主公開研究協議会

11月28日に本校を会場に平成26年度自主公開研究協議会を行いました。県内外からたくさんの参加者を迎えて、「学びをつなぐ授業づくり～個別の指導計画の活用」のテーマのもと、公開授業、分科会協議、講演会を行い、本校の肢体不自由教育の実際を広く紹介しました。講演会ではNPO法人地域ケアさぽーと研究所理事長の飯野順子先生を講師に迎えて、「障害の重い子どもの授業づくり～キャリア発達をうながす授業づくり～」をテーマに肢体不自由教育の先進的な取組を紹介しながら具体的な授業づくりの在り方をお話していただきました。研究協議では、各分科会テーマに添ってワークショップ型のグループ協議により活発な意見交換が行われました。各分科会での指導助言と講演により、個々の学びをつなぐ授業づくりを考える研究協議会となりました。

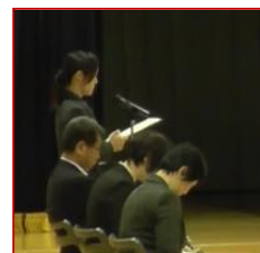
公開授業



分科会テーマに沿った各学部の授業を公開しました。目を輝かせて読みきかせを聞く姿や意欲的に自分の課題に取り組む姿を紹介できました。



講演会



各分科会の協議内容を全体会で報告しました。

分科会



分科会では指導助言の先生からそれぞれの専門の講話や協議についての助言をいただきました。各学習グループの授業づくりについて公開授業の場を挙げながら、分かりやすく、具体的にお話ししていただきました。グループ協議では各校の指導事例を交えながら協議を深め、「大変参考になった」という感想をたくさんいただきました。

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。



友達や先生が大好き！



スクーリングで友達や教師からの働き掛けに

笑顔で応える姿を目指しています。

在宅で学習している児童生徒にとってスクーリングは、友達や教師とたくさん触れ合うことができる貴重な活動です。同行する保護者には、計画を立てる段階で学習のねらいを十分に伝えて協力をお願いしています。また、一緒に活動する学年の友達や教師には、事前に学習の時間や内容を伝えて積極的な声掛けをお願いして連携を図っています。中学部の生徒は、運動会、学習発表会、コンサート等の音楽的活動や国際教養大学との交流等の機会に14回スクーリングを行うことができました。担当以外の教師からのあいさつに笑顔で応えたり、繰り返して活動に参加することで、友達の様子を見る姿が見られたりするようになりました。

少しずつですが、笑顔が増えてきました。スクーリングの様子をどうぞご覧ください。

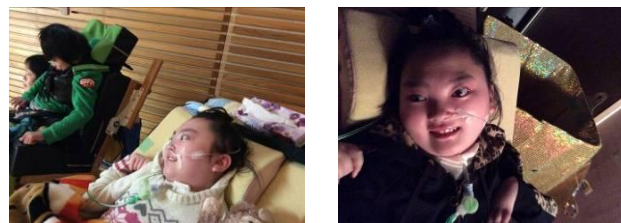
運動会

体育館のにぎやかな雰囲気を感じて、友達や教師と関わりながら活動に参加しました。担当以外の教師からの声援に笑顔で応えていました。



学習発表会

ステージ練習に繰り返して参加することで、友達に視線を向けて笑顔を見せるようになりました。



音楽的活動

知っている歌が始まると笑顔になって聴いていました。



国際教養大学と交流

音楽グループに参加して、歌を聴いたり、鈴付きの指サックを付けた指を動かしたりしました。



【お詫びと訂正】 きらり Net49号掲載の記事「ICT機器の活用に関する事例紹介」の中で、アプリケーション「Noise level」の活用において、声の強さの数値を「80db」、「95～100db」と紹介いたしました。実際には人間の肉声では発することが不可能なレベルであり、耳をふさぎたくなるようなレベルであるという御指摘をいただきました。アプリケーション内での参考数値をそのまま掲載し、誤解を生む表現になりましたことをお詫び申し上げます。今後は関係機関等との確認を元に、正しい情報提供に努めて参ります。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。



教頭 石川 純子 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>

次号は3月6日発行予定です。